

KYOTAMBA TOWN

京丹波

議会だより

第86号

[令和6年11月15日]

発行 京都府京丹波町議会



表紙写真 あっぱれたんぼ（曾根地内）

令和6年 9月定例会

2P 令和5年度決算

食の町京丹波の確立と各種施策の着実な推進を確認

5P 補正予算、条例の改正など

新型コロナ予防接種、土地改良施設維持管理を追加した補正予算を可決

7P 一般質問に11議員 ー人事管理についてー

18P 閉会中の委員会報告 教育福祉常任委員会

19P 第55回追跡調査 交流

20P 人(ひと) 杉森一弘さん・麻美さん(中区) 編集後記



京丹波町

議会ホームページアクセス件数
1,050,080件(R6.10.20現在)前号より1,029件増



と各種施策の着実な推進を確認

に基づき、給水停止も含めた料金徴収へ

令和5年度 一般会計決算収支状況

一般会計	収入額	支出額	差引額	翌年度繰越額	差引実質収支額
	115億5481万円	114億8850万円	6631万円	1915万円	4717万円

令和5年度末 一般会計基金・地方債残高

基金（貯金）	36億4805万円	地方債（借金）	142億3914万円
--------	-----------	---------	------------

令和6年9月定例会は、8月30日から9月24日まで開催されました。定例会には令和5年度会計決算、人事、補正予算など31件が提出され、全議案を認定・同意・可決しました。11議員が一般質問に立ち、46項目について執行部の所見をただししました。なお、本定例会には、延べ58人の傍聴がありました。

一般会計決算

令和5年度の一般会計決算認定議案が提案され、質疑・討論・採決の結果、認定しました。

〔賛成10 反対2〕

主な質疑・討論

歳入関係

問 NHK大河ドラマの、誘致に至る詳細は。

課長 ロケーションスポット、飲食を含めた周辺環境の紹介、ロケハンなど、さまざまな要望に対応して誘致となった。

問 土地貸付料が昨年と比較して減少している要因は。

課長 不動産鑑定評価

額に基づく算定が、令和4年度と比較し減額となったためである。

問 こだちカフェの使用契約期間と、内容は。

課長 更新は令和8年3月31日までを最長とし、運営方針や提供メニューなど、魅力的な提案に重点をおき事業者を選定している。

問 コンビニでの交付件数と、交付全体におけるコンビニ交付の割合は。

課長 住民票の写しは全体交付数が5339件のうち、496件、交付率は9・3%。印鑑登録証明書は3784件のうち、460件、12・2%。全体では10・5%である。

歳出関係

問 少量危険物貯蔵施設撤去工事の内容は。

支所長 安栖里地内にある温室の温風暖房機に給油するオイルタンク1700リットルの撤去費用である。

問 こども園では、令和5年度から使用済みオムツの回収が開始された。保護者の反響は。

課長 家庭への持ち帰りがなく、楽になったなどの声があり、負担軽減につながっている。

問 中京交通に移管された後も免許返納時の路線バス利用券は使用可能か。

課長 中京交通が運行する園福線で使用できる。

問 猫の避妊・去勢手術補助金事業の総括は。

課長 手術の実施頭数は59頭。そのうち、32頭が飼い主のいない猫であった。

初年度事業で当初の見込みを大きく上回る申請があり、一定の効果があった。



こだちカフェ（役場本庁）

食の町京丹波の確立

水道料金滞納整理要綱



ウッディバルわち（下栗野地内）

問 じん臓機能障害者
通院交通費に係る自家
用車、交通機関利用の
人数は。

課長 自家用車22人、
交通機関1人である。

問 ウッディバルわち
の宿泊料金など料金改
定後の状況は。

支所長 直接的な集客
への影響はなかった。

問 地域熱供給量に対
して費用対効果と、継
続する意義は。

課長 未利用の間伐材
などが燃料として価値

を持つことができれば、
これからの森林整備の
促進につながる。施設
運営の一助になるよう
に改善しながら、引き
続き運営を行う。

問 森づくり計画に基
づいた取り組みで、明
らかにした課題は。

課長 生産側と需要者
側との情報共有が必要
であり、里山林の環境
の悪化や動物被害の拡
大などの課題がある。

問 GIGAスクール
構想の端末で使える桃

太郎電鉄教育版Li
ght
eの活用状況は。

課長 学校により使用
頻度に差はあるが、環
境を整えソフトを利用
した授業を行い、有効
な学習ができています。

問 学校給食への思い
が表れる決算となつて
いるが、総括は。

次長 双葉町や十文字
学園との交流、地元企
業とのメニューの共同
開発など食を通じた学
びを積極的に推進し、
郷土愛や地域への誇り
の育成に取り組めたこ
とは評価できる。

反対討論 山田 均 議員
デジタル化について
いけない住民を置きざ
りにするのはなく、
一人も取り残さない町
政運営を求めて反対。

賛成討論 居谷 知範 議員
町政の3つの柱を具
現化した施策が推進さ
れ、メリハリのある将
来の町のあり方を明ら
かにした決算である。

決算監査報告(要旨)

前年度末と比較して地方債残高は、16億2883万5千円減少しており、前年度より起債の抑制効果が表れているが、今後、利率の上昇が想定されることから、起債の増加を抑え、計画的な繰上償還を図るなど、実質公債費比率の増加を抑制する財政健全化策に一層取り組む必要がある。

基金残高は、前年度より2906万6千円減少しており、歳入の確保や業務の効率化による経常的経費の抑制などに引き続き積極的に取り組んでいくことが求められる。

自主財源の確保や負担の公平性を図る観点から、徴収担当者の専門的知識の習得、弁護士など外部専門機関に法的な助言、指導を求めるなどの収納率向上対策の強化が必要である。併せて、債権の管理に関する条例にもとづき、町有債権の回収、放棄などの管理適正化を図り、町税等徴収率向上委員会での取り組みの成果が収納率に反映されるよう一層努力されたい。常に費用対効果を意識した事業や、その事後評価、SNS等の活用や訪日観光客誘導により、観光収入の増加を図るなど、従来からの方法や固定観念に捉われない事業展開を進めていただきたい。また、補助金の執行にあつては、組織等の運営状況を見極めた上で、適切な補助金額の算出と交付を行うことをお願いし、監査意見とする。

監査委員 山本 透・谷口 勝巳



特別・企業会計決算

令和5年度の特別会計及び企業会計決算認定議案が提案され、質疑・討論・採決の結果、全議案を可決及び認定しました。

令和5年度 主な特別・企業会計決算額

主な会計		収入額	支出額	採決結果	
				賛成	反対
特別会計	国民健康保険事業	17億4914万円	17億4490万円	10	2
	後期高齢者医療	2億8275万円	2億7803万円	10	2
	介護保険事業	23億5389万円	22億9863万円	10	2
	下水道事業	8億7586万円	8億99万円	全員賛成	
企業会計	国保京丹波町病院事業			全員賛成	
	収益的収支(税抜)	9億7666万円	9億6319万円		
	資本的収支(税込)	1億114万円	1億4823万円		
	水道事業			10	2
	収益的収支(税抜)	10億8543万円	10億2886万円		
	資本的収支(税込)	3億8492万円	8億5371万円		

国保京丹波町病院事業会計の収益的収支は1348万円の純利益となり、資本的収支の収支差引4709万円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんされている。

また、水道事業会計の収益的収支は5657万円の純利益となり、資本的収支の収支差引4億6879万円は、当年度分損益勘定留保資金などで補てんされている。

令和5年度末 特別・企業会計貯金・地方債残高

基金(貯金)	18億7763万円	地方債(借金)	102億5634万円
--------	-----------	---------	------------

主な質疑・討論

国民健康保険事業

問 マイナ保険証の利用率は。

課長 国の示す計算方式で示すと、直近では10・59%である。

反対討論 東 まさ子 議員

基金は1人当たり約11万円になる。保険税の引き下げを、マイナ保険証への移行の強制は認められない。

賛成討論 森田 幸子 議員

保険税の減少や医療費の増加で厳しい事業運営の中、税負担を据え置き、健康を守る施策に取り組んでいる。

後期高齢者医療

問 現在、医療費の窓口負担は原則1割であるが、2割・3割負担の該当者数は。

課長 2割負担が451人、3割負担は74人である。

反対討論 東 まさ子 議員

削減で高齢者の生活は厳しい。公費負担割合を増やし保険料・窓口負担の軽減を求め反対。

賛成討論 松村 英樹 議員

保険料徴収は99・4%の高い収納率が維持できており、実質収支は471万円の黒字決算であるため賛成。

介護保険事業

問 介護療養型老人保健施設の収支改善の道筋は。

課長 施設稼働率の向上と、できる限り経費削減の努力をしたい。

反対討論 山田 均 議員

制度改正ごとに改善されている。安心してサービスが受けられるよう国に利用者の声を届ける責任がある。

賛成討論 西山 芳明 議員

超高齢化社会を見据え、長期的視野に立った安定的な介護保険制

度維持の視点からも現行の運営は適切である。

病院事業

問 医師住宅の稼働状況と、居住されている医師の評価は。

課長 世帯用では100%、単身者用で50%、そのほか研修医が年に4、5人程度、およそ1か月ずつの利用がある。通勤の負担軽減や環境の良さ、設備の充実など好評を得ている。

反対討論 山田 均 議員

水道は暮らしになくてはならない。基本水量の見直しなど町民が安心して暮らせるまちづくりを求めて反対。

賛成討論 隅山 卓夫 議員

管路の布設替えや中央監視システム更新など、水道安定供給に必要な事業推進を評価し賛成。

水道事業

問 未収金に対する今後の対応は。

課長 給水停止や訴訟も選択肢に、回収に注力する。

反対討論 山田 均 議員

水道は暮らしになくてはならない。基本水量の見直しなど町民が安心して暮らせるまちづくりを求めて反対。

賛成討論 隅山 卓夫 議員

管路の布設替えや中央監視システム更新など、水道安定供給に必要な事業推進を評価し賛成。



新築された医師住宅(和田地内)

新型コロナワクチン予防接種、土地改良 施設維持管理を追加した補正予算を可決

主な補正（一般会計）

土地改良施設維持管理事業	764万円
予防接種事業	8115万円
移住促進事業	740万円
障害児通所給付費等事業	1287万円

令和6年度補正予算

一般会計ほか2会計の補正予算を可決しました。

主な質疑・討論

一般会計

令和5年度繰越金確定に伴う減債基金積立及び新型コロナワクチンの秋開始分費用や移住促進、土地改良施設維持管理事業、障害児通所給付費など、1億4000万円を追加するもの。「全員賛成」

問 府ふるさと応援交付金全体の約6分の1となる292万円の還元要因は。

課長 令和5年度京都版市町村連携携型ふるさと納税において、本町返礼品への納税額が一位となったため。

問 大滝池改修工事の調査委託内容は。

課長 地震発生時に堤体が受ける影響を調査

し、補強や盛り土を検討する。

問 新型コロナ予防接種業務委託料3115万7千円の対象者への通知方法は。

課長 接種者は2525人を見込んでいる。広報や京丹波あんしんアプリ、文字放送で知らせる。

問 予防接種費用助成金6万8千円の対象人数は。

課長 委託先医療機関での自己負担金を返還するもので、5人を見込んでいる。

特別・企業会計補正予算

2つの会計の補正予算を可決しました。

介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
（事業勘定）

9265万円

前年度介護給付費負担金等の確定に伴う調整を行うもの。

問 認知症地域支援・ケア向上事業の講演会など開催委託料の内訳と上映内容は。

課長 映画上映の委託料である。内容は、認知症の当事者と介護す

る夫のドキュメンタリーである。

下水道事業特別会計補正予算（第1号）
7106万円

人件費の精査に伴う増額、施設管理費における設備・修繕費の増額並びに施設整備費における機器設置工事費などの増額。

問 梅田処理場・本庄処理場の工事内容は。

課長 梅田処理場は破砕機更新工事、本庄処理場は、し渣脱水機更新工事である。

主な条例の 制定・改正

すこやか子育て医療費助成条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）等の一部改正に伴う所要の改正。

施行日は、令和6年12月2日から。

〔賛成多数〕



大滝池地質調査（市森地区）



問 条例改正により医療費助成を受ける場合、被保険者証に代わるものを提示するのか。

課長 被保険者証に代わるものは、マイナ保険証や資格確認書となる。

反対討論 東 まさ子 議員

現行の保険証を廃止し、マイナ保険証のみを利用することを前提とした改正であり、反対。

賛成討論 森田 幸子 議員

住民の利便性を高めるために欠かすことのできない施策であり、スムーズに行政運営が進むことを望み賛成。

国民健康保険条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）等の一部を改正する法律等の一部の施行に伴う関係政令の整備等及び経過措置に関する政令の公布による

所要の改正。施行日は、令和6年12月2日から。

〔賛成多数〕

問 現行保険証廃止後、資格確認書はマイナ保険証を持たないすべての被保険者に配布するのか。

課長 マイナ保険証のない方には、令和7年3月31日までに配布する。

反対討論 東 まさ子 議員

マイナ保険証の登録者数は57・5%。約半分しか取得されていない中、現行の保険証を廃止するのは問題。

賛成討論 森田 幸子 議員

国が推し進めているDXの体制で、住民の利便性を高め最高の医療を提供するため、欠かせない施策である。

過疎地域持続的発展市町村計画の変更

令和3年度から令和7年度を計画期間とする過疎地域の持続的発展の支援に関する特別

措置法に基づく、市町村計画に事項を追加するなどの改正を行うもの。

〔全員賛成〕

問 総合的な環境対策の推進とごみの減量化、一般廃棄物の適正処理などの課題に対し、本計画における具体的な取り組みは。

課長 今後、プラスチックの一括回収などを視野においた車両購入が盛り込まれている。

人事（敬称略）

人権擁護委員候補者

真野 照美（新任）

契約

町道安井南谷線（第3工区）道路改良工事請負契約

町道安井南谷線における道路改良工事一式を行うもの。

工期は令和7年12月26日として、債務負担

行為を設定して施工する。

契約金額／1億2056万円。契約の相手方／共栄・小南特定建設工事共同企業体。契約の方法／条件付一般競争入札。

工事概要／L＝153m、W＝7・0m。道路改良（道路土工・法面工・排水構造物工）1式、舗装A＝260㎡、コンクリート橋L＝13・4m。橋りょう下部（逆T式橋台工）2基、築堤、護岸1式、仮設工1式。

〔全員賛成〕

問 入札参加した企業すべてにおいて特定建設工事共同企業体、いわゆるJVでの参加となっている。JVでの参加を求める要件は。

課長 今回のような工事内容の難度が高いものを選定している。

6年9月定例会

賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案については、全会一致で賛成しました。

各議員の賛否

審議結果	議員名	山崎 裕二	山崎 眞宏	畠中 清司	伊藤 康二	居谷 知範	西山 芳明	隅山 卓夫	谷口 勝巳	山田 均	東 まさ子	松村 英樹	森田 幸子
		議案名など											
可	すこやか子育て医療費助成条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
可	国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
可	令和5年度一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
可	令和5年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
可	令和5年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
可	令和5年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
可	令和5年度水道事業会計利益の処分及び決算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○

議長は、採決に加わらない。○は賛成、×は反対、退は退席

一般質問 **ここが聞きたい**

未来を担う職員の研修を計画的に実施すべきでは



すみやま たくお
隅山 卓夫 議員

町長 時代に対応できる人材育成を目指した研修計画により積極的に実施

問 職員の行政能力のレベルアップや知識力の向上には人材育成が重要になるが、町の未来を担う職員研修について計画的に実施しているのか。

町長 行政の最前線に立つ職員を優秀な人材に育てることは非常に大事である。時代に対応できる人材を育てることに重きを置いた職員研修計画により、積極的に実施している。

問 高齢化により地域内の環境・防災・防犯をはじめ、福祉・健康など地域づくりのあらゆる課題について、職員はこれまで以上に住民と真正面から向き合う必要がある。地域の課題やニーズを住民と共有する方策は。

課長 職員の自発的な活動や自主性を養うため、自己啓発をする場合に休業制度を設けている。また、職員が町政に関する事項につ

て、自主的な調査・研究や業務改善の検討・提案を行う場合は、職員ベンチャー事業実施要領を設けている。

子ども家庭センターの相談内容は

問 相談や支援の内容は。

課長 すべての妊産婦、子育ての悩みや不安の相談、子どもの発達、児童虐待など、一般的な相談を受けている。支援については、小・



子ども家庭センター
(瑞穂保健福祉センター内)

中・高等学校や子ども園、庁内関係機関や京都府家庭支援総合センター、地域の民生委員や医療機関の地域連携室、社会福祉協議会などと連携し、重層的かつ継続的な支援を行う。

問 相談室スペースや備品など、より相談しやすい環境への課題は。

課長 本庁の会議室なども活用しており、現時点では、相談室のスペース・備品に大きな課題は抱えていない。

公共施設の適正管理を

問 合併により、多数の公共施設は、約6割が建設後20年以上経過し、維持していくことが厳しい現状である。売却など跡地の利活用も含めた検討が必要では。

町長 公共施設などの維持管理は、耐震化や除却資金など課題がある。公有財産売却実施要綱で、適正な管理の徹底、公平公正で透明性のある活用と処分を目的に、普通財産の処分に関する方針を定めている。

引き続き、利活用を積極的に検討し、売却貸付を促進することにより財産収入の確保に努める。





やまざき まさひろ
山崎 眞宏 議員

長期休暇中における学童保育の 昼食提供に取り組むべきでは

教育長 学童保育の趣旨をふまえ、研究を進める

問 長期休暇中の学童保育において、昼食提供が行えるように検討する考えは。

教育長 こども家庭庁が示す5つの事例のうち、外部業者との連携が参考になる。安全性の確保、発注や代金徴収などの管理のあり方、食事の保管など、整理すべき課題があると認識しており、趣旨をふまえ、引き続き研究を進めていく。

コロナウイルス感染症ワクチンの定期接種の取り組み状況は

問 厚生労働省によると、新型コロナウイルス感染症ワクチンの定期接種は準備が整った自治体から、10月をめ

どに開始となる予定である。取り組み状況は、**課長** 医療機関での個別接種を実施する。接種開始に向けて、周知や予診票の準備などを進めている。



▼放課後児童クラブの長期休業期間等における食事提供事例

- 学校給食センターを活用した取り組み
- ◎ 弁当事業者と連携した取り組み
- 認定こども園の調理室を活用した取り組み
- 法人で一括して調理する取り組み
- こども食堂と連携した取り組み



こども家庭庁が示す5つの事例

問 自己負担額は最大7千円と聞いている。実際の負担額は自治体ごとに補助があり、異なるようだが、個人の負担額は。

課長 対象者1人3千円をご負担いただく。生活保護受給者は自己負担免除となる。

バーチャル美術館の整備を

問 展示スペース・ギャラリーを併設したバーチャル美術館の整備によって、VRゴーグルを使って、現地に行かずして、琴滝や質

志鐘乳洞、町の観光施設や山城などを体感できる。小さな子どもから高齢者、障害者でも楽しめるバーチャル美術館の整備に取り組む考えは。

課長 展示スペースやギャラリーを併設したバーチャル美術館は、遠方まで出向くことなく、町内外の美術鑑賞が

できる有効な方法である。運営面や管理面で検討すべき課題もあるため、今後、実現の可否を含め、研究したい。

丹波地域開発発株の経営状態は

問 テナントの撤退や競合大規模店舗の進出が相次ぐなか、最新の経営状態は。

課長 第32期定時株主総会で承認された5年度の決算報告では、当期純利益額は677万円余りの黒字決算である。

問 町として、同社への財政支援の判断に迫られた場合の方針は。

町長 行財政の健全性を保ち、町全体の利益に資するという判断基準で検討する必要がある。町民のみなさんへの透明性を伴った説明が重要であり、議会における十分な審議によって、信を問うべきと考えている。

炎天下での農作業に係る 人的負担軽減支援の実施を



伊藤 康二 議員
いとう やすじ

部長 補助金の創設は考えていない

問 高温に強い、うるち米生産の情報共有の状況は。

課長 農事組合会議でも紹介済みであり、今後も、府などの関係機関と連携しながら、情報提供していく。

問 乳白米や胴割れ米を減らす指導は。

部長 自主放映番組での南丹農業改良普及センターによる農業情報コーナーや、京都丹波米良食味推進協会発行の「京都丹波米良食味



高温障害のほ場

だより」などで、中干しの方法、穂肥ほえいの施用、水管理、高温対策、稲刈り後の土づくりなどのお知らせをしている。

問 ドローン防除やトラクターに装着する草刈り用機材など、炎天下での農作業に係る人的負担を軽減するための補助金の創設を。

部長 多面的機能支払制度や中山間直接支払制度があり、補助金の創設は考えていない。町農林漁業関係補助金

で対応できる場合もあり、あわせて検討いただきたい。

改正農業経営基盤強化促進法の影響は

問 農地中間管理機構への一本化のメリット・デメリットは。

課長 簡単な手続きで、安定した農地利用が可能となること、農地全体の利用状況が可視化でき、集落の現状が共有できること、農業者への行政サービスが向上することがメリットと考えられる。デメリットとして、いわゆる相対契約に比べて、契約時や解約時に少し時間を要することが考えられる。

問 細目書の記入方法の変更点はないか。

課長 大きな変更点はないと理解している。

子育て世代職員の昇給考慮を

問 最新の人事院勧告

の内容は。

副町長 初任給の大幅な引き上げ、若年層に重点を置いた給与改定などが盛り込まれている。人材確保、社会環境の変化に対応した内容と認識している。

問 子育て世代職員に特化した昇給を。

副町長 特定の年代のみの昇給は考えていないが、職務上の責任を給料額に反映していくことに主軸を置いて、検討を重ねている。

南海トラフ地震を見据えた防災対策の強化を

問 気象庁による南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」を受けた準備状況は。

課長 府の想定では、町の震度は5弱である。地域防災計画のなかでは、災害警戒本部の設置基準に該当しており、第一義的には、同計画に基づく対応を行う。





はたけなか せいじ
島中 清司 議員

上下水道の設備機械や 管路などの適切な維持管理は

課長 保守点検業務を行い、必要な箇所から修繕など対策の取り組みを行う



マンホール蓋 (梅田地内)

問 昨年度の上水道工事、修繕工事の件数は。
課長 全体で221件、その内、水道本管の布設・移設工事9件、漏水工事41件、給水管で107件である。
問 上水道事業における配管、材料などの技術革新は。
課長 耐震型継ぎ手となり、腐食に強く可とう性が高い配水用ポリエチレン管を採用して

いる。
問 技術者など担い手不足への対応策は。
課長 マニュアルだけでなく、経験者と新規配属者が一緒に現場対応することが重要であり、技術習得研修にも派遣して勉強している。
適切な維持管理は

問 配水管などの老朽化やポンプの劣化を防ぐための適切な維持管理は。
課長 調査は実施できていない。区からの修繕の要望などや、人や車両の通行量を勘案して対応している。
問 水道管路の耐震適合管率は。
課長 耐震適合管率は47・1%で、水道管全体では28・2%である。

問 猟猟免許の種類と各免許の所持者数は。
課長 第一種銃猟、第二種銃猟、わな猟、網猟免許の4種類に分かれ、所持者数は第一種47人、第二種2人、わな猟129人、網猟6人、合計184人である。人数は131人である。
問 有害鳥獣捕獲を行う際の安全対策は。
課長 町として安全講習会の開催のほか、事故防止対策マニュアルによる周知や、警察や各種団体の講習会への参加、射撃大会による技術研さんに取り組んでいる。

伝統文化や文化財の積極的活用を

問 伝統文化や文化財などは、貴重な地域資源であり、交流活動に積極的に活用することが必要では。
教育長 中学校での伝統文化による交流や、町民大学において歴史的な文化財にスポットをあてた講座を系統的に実施し、枠を超えた活用を進めたい。

狩猟時の安全対策は
問 狩猟免許の種類と各免許の所持者数は。
課長 第一種銃猟、第二種銃猟、わな猟、網

図書館中央館の移転を



まつむら ひでき
松村 英樹 議員

町長 図書館を含む公共的機能の整備構想を検討していきたい



図書館中央館（蒲生地内）

問 買い物や食事でもできる利便性の高い商業施設の中に、公共の図書館を設置する事例が増えている。図書館中央館（中央公民館）は、昭和49年に建設され施設の老朽化などの課題がある。図書館がより身近な存在となり、住民の方の利用促進を図るため、図書館中央館を町内の商業施設である丹波マーケス内に移転する考えは。

教育長 中央公民館のあり方を検討する段階に来ており、丹波マーケス内の図書館の移転も検討しうる選択肢の一つである。

町長 利便性や財政状況を勘案しつつ図書館を含む公共的機能の整備構想を検討し、丹波マーケスに提案したい。

熱中症（猛暑）対策を

問 係わる危険な暑さが続き、連日熱中症警戒アラートが発表された。熱中症予防のため、小・中学校の徒歩通学者をバスで通学できるようにする考えは。

教育長 まずは学校から実情を聴取したい。

問 熱中症の予防対策として、和知中学校にウォーターサーバーを設置されているが、ほかの小・中学校にもウォーターサーバーを設置する考えは。

ことは可能か。また、のぼり旗や広報紙を活用し、周知徹底を図る考えは。

課長 熱中症特別警戒アラートが発表されなくても利用できる。周知方法については、次年度に向け検討する。

带状疱疹ワクチン接種費用の助成を

問 带状疱疹ワクチンは、接種費用を公費で受けられる定期接種になる見通しである。円滑に実施できるように、どのように取り組むのか。また、定期接種となるまでの期間、接種費用を助成する考えは。

部長 定期接種化となれば、接種費用の助成も含め、円滑な接種に向け医師会や医療機関と調整し、体制構築を図る。

町長 助成については、今後考えていく。

課長 3つの中学校に、屋内用でマイボトルに補給するタイプのウォーターサーバーを9月中に設置する予定である。

問 熱中症特別警戒アラートが発表された場合、暑さをしのぐ場所として、クーリングシエルターが6カ所設置されている。

熱中症特別警戒アラートが発表されなくても、自由に利用する





やまさき ゆうじ
山崎 裕二 議員

スクラップヤード条例の制定を

部長 全国的な課題として、法令による規制が必要と考えている

▶▷スクラップヤード条例の制定状況	
2024年（令和6年）7月9日時点	
① 長野県飯田市	2012（平成24年）年1月1日改正
② 神奈川県綾瀬市	2019（平成31年）年7月1日施行
③ 千葉市	2021（令和3年）年11月1日施行
④ 茨城県境町	2021（令和3年）年12月8日施行
⑤ 千葉県袖ケ浦市	2023（令和5年）年4月1日施行
⑥ さいたま市	2024（令和6年）年2月1日施行
⑦ 茨城県常陸大宮市	2024（令和6年）年4月1日施行
⑧ 埼玉県越谷市	2024（令和6年）年4月1日施行

スクラップヤード条例の制定状況

問 広く使用済みの物
品や再生資源物の屋外
での堆積や保管を規制
する、スクラップヤード
条例の制定を。

部長 全国的な課題として基本的には、法令による規制が必要と考えている。

問 府によるスクラップヤードに係る条例制定の提言を。

町長 府内の状況などを情報交換しながら、法制化などの要望を検

討していきたい。

**高齢者などの
ごみ出し支援を**

問 本人や親族、地域の方から、ごみ出しが困難との相談が寄せられた際の対応状況は。

課長 生活支援コーナー
ディネーターと支援を行っていただけの方を探したり、助け合い活動「かがやき」の利用につなげるなどを行っている。

問 制度を設け、ごみ出し支援事業の実施を。

部長 町に寄せられる相談件数やその内容などを注視しながら、よりよい解決方法を関係者とともに検討し、対応していく。

**医療費後払いクレジット
トサービスの導入を**

問 国保京丹波町病院に、事前に登録、診療当日の受付により、医療費の計算を待たずに帰宅可能な医療費後払いクレジットサービスの導入を。

課長 現在導入は考えていないが、導入費用、手数料や運用方法などを研究する。

備品の横断的活用を

問 健（検）診会場に、聴覚障害者に配慮したICT機器の配備を。

部長 台数などの制約もある。活用の可能性を研究していく。

問 学校体育館に、ス

ポットクレーンなどが設置された。社会体育での利用促進は。

課長 申請時に説明書を渡せるように準備している。町立学校施設使用に関する条例の改正に向けて、利用状況などの実地調査も行っていく。

問 コロナ対応の臨時交付金で導入したタブレットパソコン（30台）の柔軟な活用を。

部長 交付金事業の趣旨をふまえた上で、活用を検討していく。

**補助金適正化に向けた
ガイドラインの作成を**

問 財政健全化に資すよう、各種団体への補助金等の適正化に向けたガイドラインを作成すべきでは。

町長 補助金等検証シートを用いて、検証や見直しを継続的に実施している。今後も補助金の適正な執行に努める。

各中学校でのクラブ活動に 多彩な選択肢を



いたに ともりの
居谷 知範 議員

教育長 クラブ活動の地域移行も含め検討していきたい

問 中学校でのクラブ活動において、選択肢を広げるべく、チーム京丹波として合同チームを作るべきでは。

教育長 今後の部活動を考える上で極めて重要な視点であり、部活動の地域移行も含め、検討を進めていきたい。

問 竹野・瑞穂小学校で導入されているチーム担任制を、他の小学校にも展開していく考えは。

教育長 試行的に実施している段階であり、1年間実施した上で、教職員・児童・保護者の視点で効果を検証し、結果を他の小学校にも紹介していきたい。

問 多様な教育プログラムの展開、また児童・生徒の交流も目的に、スケールメリットを生かすための授業や行事を、各校合同で行うべきでは。

教育長 小さな集団のきめ細やかな指導、支

援ができる良さを生かしつつ、学校間の共同的な学びを、できる限り広げていく方向で取り組んでいきたい。

グリーンランド
みずほの活性化を

問 グリーンランドみずほは、道の駅のリニューアルや、みずほガーデンロッジの改修計画が具体的に進み、また民間活力導入可能性調査も実施されている。グリーンランドみずほを再生させる最大で最後のチャンスと捉えているが、見解は。

町長 一部竣工から30年余りが経過し、社会ニーズが急速に変化する中で、現状のサービス体制の見直し、施設のあり方、持続可能な経営手法を再検討し、施設の将来ビジョンを描くタイミングが来たのではないかと考えている。

問 コテージや遊具は、特に状況が悪いと感じる。顧客満足度の向上や安心・安全な施設を目指し、今後建て替えや更新を検討していくべきでは。

副町長 民間活力導入可能性調査において、相応の需要があると判断した場合には、必要に応じた建て替えや修繕・更新を検討したい。

不当要求行為の防止に
向けた取り組みを

問 不当要求行為などに対して、統一的な対応を定め、職員と職場環境を守るため、不当要求行為等対策条例を制定すべきでは。

課長 健全で円滑な行政運営を進めるため、指針や要綱の適切な運用が重要である。条例化にあたり、住民のみならずにもご協力をいただかなければならないため、議論を要する。



グリーンランドみずほ内のコテージ
(大朴地内)





にしやま よしあき
西山 芳明 議員

京丹波プレミアム栗づくりの 取り組み計画は

町長 有機JAS規格に適合する栗栽培研修をしている



栗の害虫被害低減対策用の防蛾灯
(市場地内)

問 丹波くり生産振興計画におけるブランド戦略として、京丹波プレミアム栗づくりの推進について、具体的な取り組み計画は。

町長 プレミアムのつく高価な栗づくりと合わせ、裾野を広げることも重要である。

プレミアム栗は、有機JAS規格に適合する栗栽培方法について研修をしている。

問 行政が主体となり官民連携した組織を立ち上げ、一括集荷施設や加工施設の設置、新商品開発、販路開拓事業に取り組むべきでは。

町長 素材生産から、今後は加工技術の向上、年間を通じて市場に出せる付加価値を高めるべき。

部長 今年度、新商品開発支援事業の創設やフードバレー協議会に参画する食品関連企業や須知高校、大学とも連携し新商品の開発や販路開拓に努めていく。

ふるさとの味の
継承対策を

問 改正食品衛生法により、漬物などの製造販売が許可制となり、伝統の味がどんどん消えつつある現状に対する受け止めは。

町長 農村の振興には欠かせない。守つていくための体制を検討するべきと考える。

問 公共施設を活用した、ふるさとの味伝承施設として後継者や新規事業者育成に取り組む考えは。

課長 町主体で実態を調査し、製造の継承を進めていく。

山城調査資料の
有効活用を

問 山城調査結果報告書をもとに、ポケットサイズのパンフレットを作成して山城巡りに活用したり、山城の案内看板設置など、取り組みについて展望は。

教育長 ポケットサイズのガイドブックも検討する。看板については、私有地も多く今後の課題とする。

問 地域学芸員の位置づけと任務は。

教育長 本町の歴史、文化財の魅力を学んでいただき、将来的には案内役としての活動を期待する。

問 歴史はその地域固有の歩みであり、知れば知るほど愛郷心や郷土の誇りが持てることについて、教育的観点から見解は。

教育長 本町の歴史が日本の歴史の中で果たした大きな役割を学ぶことで、郷土への誇りを育てることにつながる。

問 郷土の歴史を知ることによる、まちづくりの観点からの見解は。

町長 先人たちに思いをはせながら、誇り高い京丹波町を築き上げていきたい。

マイナンバーカードの健康保険証の利用促進を



もりた さちこ
森田 幸子 議員

部長 広報素材を活用し、関係課と連携しながら広報を行う

問 本年12月2日から従来の健康保険証は新規発行されず、その後はマイナンバーカードでの保険証利用を基本とする仕組みに移行する。住民が安心してマイナ保険証を利用できるように、正しい情報を丁寧に発信することが大事である。広報活動を強力に推進すべきでは。

課長 マイナ保険証はデータに基づき、よりよい医療が受けられるなどのメリットがあり、今後、医療のDX基盤となる。国が提供する広報素材を活用し、関係課と連携しながら広報を行っていく。

地方就職学生支援事業の申請を

問 少子高齢化が進む中、人口の東京圏一極集中が解消せず、地方の若者の減少が進み地方経済への影響は大きい。地方の若者が大学

進学を契機に東京圏に移住し、その大半が地元に戻ることなくそのまま就職することが、地方における若者の人口減少につながっている。若者のU-Jターンを促進するためにも地方就職学生支援事業の申請を。

町長 若者の減少については、京丹波町の大きな課題の一つである。提案の地方就職学生支援事業は若者の移住定住促進につながる事業として、今後前向きに検討する。

受動喫煙対策の強化を

問 改正健康増進法により2019年7月から、行政機関の庁舎、医療機関、学校などは敷地内禁煙となった。それぞれの受動喫煙対策は。

部長 役場の本庁舎及び支所については、屋外喫煙場所を設置している。医療施設は敷地

内禁煙として喫煙場所の設置はしていない。

課長 小中学校も敷地内喫煙禁止としている。

問 学校や行政機関に、禁煙の看板設置を。

課長 本庁舎では、特定屋外喫煙場所を設置しているため、設置する考えはないが、喫煙する場所の表示については検討する。

次長 体育館施設などは休日夜間に学校関係者以外の住民も使用する事から、今後、禁煙である事を知らせる表示の設置を検討する。

自然運動公園にスケートパークの設置を

問 丹波自然運動公園管理者の了解を得てスケートボードを楽しんでいる若者が増えていく。公園内にスケートパークの設置の要望を。

課長 魅力づくりのアイデアとして、自然運動公園協会を通じ府に伝える。

※U-Jターンとは
Uターン、Iターン、Jターンの総称で、多くの場合、大都市圏から地方への移住を指します。



本庁舎敷地内の喫煙場所





ひがし こと
東 まさ子 議員

食のまちづくり有機農業を進めるための本町の取り組みは

部長 新規就農者を中心に理解の醸成を図る取り組みを進めたい

問 国は、みどりの食料システム戦略を策定し、化学肥料や農薬の削減を図る有機農業を進めている。食のまちである本町の取り組みは。

部長 関心の高い新規就農者を中心に、理解の醸成を図るための取り組みを進めたい。

問 学校給食へのオーガニック野菜の活用は。

教育長 食材の一部に利用している。品目、数量は限定的である。

問 亀岡市や京丹後市がオーガニックビレッジ宣言をし、国の助成を受けて有機農業を支援している。本町は。

町長 地域ぐるみの取り組みも必要であり、宣言という状況にない。

エアコン設置に補助制度の創設を

問 猛暑が続き、熱中症による救急搬送が増えている。熱中症から住民の命を守るため、

自宅にエアコンがない家庭を対象に、購入や設置に対する補助を。

部長 適切な利用は重要であるが、現時点では考えていない。

通達撤回の要請を

問 厚生労働省は、子どもの医療費に自己負担を設けている場合や、窓口での支払いが必要な制度に変更を行った自治体に、来年度からの国保の交付金を増やすという通達を出した。国に対し、子育て支援と矛盾する通達の撤回を要請を。

町長 7年度から、国保の保険者努力支援制度で、子どもの医療費を無償化していない自治体には加点し、無償化している自治体には加点しないとされた。子育て支援を重要施策として位置づけている本町にとって、子育て医療費助成の充実是不可欠であり、京都府な

どとも連携し検討する。

水道水の検査結果は

問 発がん性が指摘される有機フッ素化合物(PFAS)が、各地の浄水場や河川で検出されている。本町の水道の検査結果は。

課長 国が設定する指針値は、1リットル当たり50ナノグラムである。5月に町内の浄水場の給水区域における末端給水栓、21地点で検査を実施し、全てで基準値の10分の1、定

量下限値とされる1リットル当たり5ナノグラム未満であった。

文化財登録申請を

問 旧須知小学校は昭和10年に竣工し、現在もほぼ当時の姿で残っている。本町の歴史的財産であり、有形文化財構造物として登録申請しては。

課長 有識者からの意見聴取や、利活用にかかる財政的な裏づけが必要であり、慎重に検討する必要がある。



旧須知小学校 (須知地内)

町内のJR駅にICカード 読み取り機の設置を



やまだ ひとし
山田 均 議員

町長 早急に実現されるよう熱意をもって要望していきたい



冷蔵庫内の命のカプセル

問 町政懇談会で、町内のJR駅にICカード乗車券読み取り機の設置の要望が出された。設置できない要因は何か。5年度は何回要望活動をしたのか。

実現には、日参する気持ちで取り組むべきだ。

課長 JR西日本と府知事に要望書を提出した。優先順位などで厳しいと回答も聞いている。

町長 熱意をもって今後も要望していきたい。

問 救急車を呼ぶ際に、住所、氏名、年齢など細かく連絡する必要がある。「命のカプセル」事業をもっと徹底してほしいと、要望が出されたが、その対応は。

課長 民生委員からの案内や、要援護者台帳の登録案内にチラシを同封し周知したい。

緊急情報は全住民に

問 災害時などの緊急連絡や情報伝達は、最優先の課題である。一

人暮らしや高齢者世帯などに、緊急時の情報がなかなか伝わらないと不安の声がある。タブレットの貸与事業は打ち切ったのか。また、民間業者とは、対策などについて協議しているのか。

課長 3年度時点の激変緩和措置で実施したが、4年度以降の75歳以上や高齢者世帯などは対象外である。また、民間業者と協議はしていない。

子育てで日本一を

問 5年度の出生数が23人。危機的な状況との認識はあるのか。

町長 厳しい状況であると認識している。

問 本町の子育て支援策を抜本的に強化、見直しが必要では。

町長 支援策は、必要に応じて見直しをしている。子育て支援は、重要施策の一つである。

問 小・中学生の1年

間の保護者負担は。

課長 小学生では、年間、給食費4万8千円、教材費1万2千円程度、修学旅行費2万5千円程度で、中学生では、年間、給食費5万4千円、教材費2万1千円程度、修学旅行費7万1千円程度である。

住民健診の項目に

問 70歳以上の半数以上に難聴があるとされている。補聴器購入助成や住民健診に聴力検査を加えるべきでは。

町長 補助制度の実施や健診に聴力検査を取り入れる予定はない。

空き家・空き地対策は

問 空き地、空き家が増加している。住民からの相談の対応は。

課長 現地を確認し、所有者に改善措置などを依頼している。



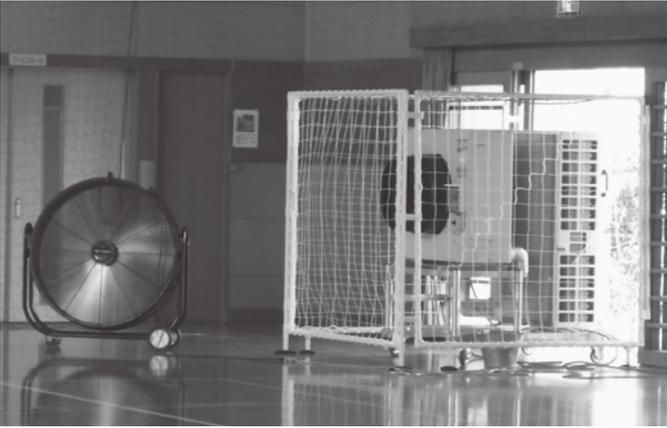
教育福祉常任委員会

蒲生野中学校体育館で冷房機「スポットクーラー（可動式）」の現場踏査を7月22日実施した。

その後、ふない聴覚言語障害センターの業務について、木村公之センター長より庁舎委員会室で説明を受けた。

使用状況と効果について

体育の授業や全校集会及び学年集会、部活動などに、ほぼ毎日使用されている。「通常時でも動き始めると体温などが上がるため、体力的にもしんどいが、スポットクーラーのおかげで部活動がやりや



スポットクーラー（右）と扇風機

すい」など、感想が寄せられていた。

ふない聴覚言語障害センターの業務について

木村センター長からは次のとおり、きこえのしくみについて説明をいただいた。

私たちの耳は、外耳と中耳、内耳の部分からなり、きこえの経路が障害されると難聴が生じ、どこが障害されたかによって難聴のタイプが異なる。

① 伝音性難聴

外耳と中耳が障害されることで生じる。

② 加齢性難聴など

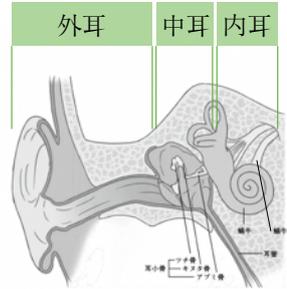
感音性難聴といい、内耳やその奥の聴神経、脳が障害されることで生じる。

○難聴が認知症の危険因子になる。

○補聴器を購入する時は耳鼻科で診断を。

○補聴器には慣れが必要で、正しく調整された補聴器であるこ

とが大切である。



聞こえに関する困りごと

ふない聴覚言語障害センターでは、年間8回、各地域をまわってきこえと補聴器の相談会を開催されており、言語聴覚士、認定補聴器技能者が相談に応じている。（事前の予約が必要）

全員協議会

●丹波ひかり小学校を視察

6月27日、全員協議会において丹波ひかり小学校を視察し、GIGAスクール構想の実現のため、児童に1台ずつ貸与されたタブ

レットの使用状況や習熟度について、確認を行った。

導入から3年が経過した丹波ひかり小学校では、一部の科目にデジタル教科書を採用し、各学年で身につけるべき目標をICTリテラシーマップにまとめ、能力や習熟度の平準化を図る取り組みが進められている。

実際に5つのクラスの授業を参観したが、どの子どもたちもタブレットを、まるで文房具のような感覚で操作している姿が印象的であった。しかしながら、授業のすべてにタブレットを使用するのはなく、グループワークをしたり、実際に書く・読むなど、状況に応じ工夫した使用が行われていた。

また教職員からは、授業の事前準備などにおいて、業務量の軽減につながっているとの

声もあった。

参観・懇談後、本町が誇る地元産食材などを多用した学校給食もおいしくいただいた。同校の榎川久仁子栄養教諭からは、京丹波町の食材の素晴らしさもお話しいただいた。

※GIGAスクール構想とは教育における情報通信技術環境の充実を図り、教員や児童・生徒の力を最大限に引き出すことを目的に、一人1台のコンピュータもしくはタブレット端末の整備が進められてきた。



訂正とおわび
7月17日発行の議会だより京丹波第85号の3ページ下段表に誤りがありました。

左記のとおり訂正いたしますとともに深くおわびいたします。

松村秀樹

正 松村英樹

議会での議論がその後どうなっているのか、町民のみなさんの疑問に答える企画です。

あれから どないなっとるんや〜?

問 より特色ある学校給食の
取り組みを

教育長

地元食材を積極的に取り
入れ、郷土愛を育む食育
教育を進める。

こうなった!



京丹波町で採れた
食材をふんだんに
使った給食。



議場前通路にて



留学生代表者と議場内にて

交 流

9月24日(月)本会議休憩中に留学生6人を議場に招き、畠中町長より留学プログラム参加証明書が交付されました。

オーストラリア・ホークスベリー市との姉妹都市交流は、昭和63年盟約を交わしたのち、平成元年より交換留学が開始されました。

令和2年からコロナウイルス感染症の拡大により交換留学を停止しましたが、本年7月より再開し、京丹波町から6名が派遣され、9月21日からホークスベリー市より6名の留学生を受け入れました。

姉妹都市交流のさらなる発展を願います。





休日は手製の洋菓子販売で

各地のイベント会場へと出かける 充実した毎日がそこにあります。

中区 杉森 一弘さん（京都市出身）

麻実さん（志摩市出身）

今回は、中区に移住され、oya

maのおやつを経営されている杉森一弘さん麻実さんを紹介しています。一弘さんは京丹波森林組合に在職、麻実さんは洋菓子づくりをされています。

—本町に移住された動機や決断、中区の印象や住み心地は。



杉森一弘さん・麻実さん（中地内）

一番の決め手は、この家からの最高の景色です。

—高台にあり雪の降る日は大変ですが、格別美しい景色で外に出たくありません。3年目になりますが、ずっと眺めていられる景色です。

—一弘さんの仕事や中区での活動は。意気込みなどあれば聞かせてください。

—ふとしたことから林業に携わり、現在は森林組合作業班として従事しています。中区では、今年から区会議員として教えていただきながら活動しています。

—麻実さんは、現在洋菓子づくりをされていますね。その内容やお菓子づくりに対する想いなどについて聞かせてください。

大阪の洋菓子製菓専門学校に進み市内の洋菓子店にて10年経験を重ね、自分流のお菓子やケーキづくりを、やりたいと強く思うようになりました。自分で育てた野菜や果物を材料にして、健康志向のケーキや焼き菓子をメインに製造しています。幸い肥沃な農地があり、野菜や果樹を育てそれらを用いたお菓子づくりをしています。

—今後の目標は

—少しずつ町内の方にも知っていただく機会が増えてきました。

—町内で出店した際には、たくさんお声がけをいただき、とても励みになっています。

—現在は、インスタグラムでの予約販売、イベント出店で季節のおやつを販売しています。

—地域の食材を中心に季節に寄り添ったお菓子づくりに取り組み、今後もイベントへの出店が中心になります。

—京丹波のおいしい食材を、いろんな場所でも知ってもらえるお菓子づくりをしていきたいと思っています。

（記者 隅山）

議会の傍聴に お越しください

—次回の議会予定は次のとおりです。

12月定例会

12月2日(月)から
12月20日(金)まで

編集後記

—秋も深まり、冬の訪れを感じる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

—令和6年第3回定例会（9月議会）が、8月30日から9月24日まで開催され、活発な議論が展開されました。

—「議会だより」を通じて、議会での各議員の質問や委員会の審査内容などをご理解いただければ幸いです。

—今後も、議会をより身近に感じていただけるよう、読みやすい「議会だより」の発行に努めてまいります。

（松村）

